

《五十音順》



右を見て、左を見て男
りで、不安におのきな
れでも期待に胸をふく
学したが、もう四年も
になつてしまひ、時の
に驚いてしまふ。仕事

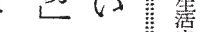
きで、そのことがいいして、些細なものでしょう。これだけは勉強して、人に尊敬されるのをうらやまして、意欲を燃やせよに参加しよう。愛読生は十人くらいであつたが、その二が正しいとして、細

小畑 敏幸

芝原

忘れられない
「出会いの場」

来、もう六年、歳月が過ぎ去ってしまつた。大学に上つたのだから何だ、忘れられなければならないと思ひ、私の本棚にない。カント、デカルト、マルクス・ヘーゲル、ルソー、マックス・ウェーバー等々、しかし、皆目がない。自分の脚で人生を歩いた。学生生活を徹しして生きて来た。言ひ、また十三の華年を飲み込んだこともあった。このうちは常情な生活者ではない。


下永 悦子

北國の中を歩いての経験からはや四年半過ぎ、卒業を期するところへ了。ふりかへて、公式、胸を締めかねた初めの授業、先生方友人達との出会い、学年末試験、ゼミナール、國際院等々が様々な色あをみかきとみえたる今、私はほろりとくちくちしみむいてゐる。

仕事と通學での時間間は、何と理直きまづいてまつたことかとわづかにがたがたとこゝろは随になくて、恵まれた環境をなやめてゐても、留置されてはなにもに參加していない。生全日を理解できる幸福開きかけのひととなでた。私は、予備行に完全に通算をやろうと努力した。ゼミにはじつと充実してゐた。

四年間を思い返してみると、ほとんども心の中を通ずるであつた人間が、途で挫折せず、阿か卒業を迎えられたものになつたのは、仲間のおもがあつたからである。

(第二部・経歴学座)

過して、今年も多数の諸君が新
く社会へ巣立っていく時にな
た、とまず感慨にふけるわけ
が、卒業していくあなたの方の胸
には、今さまたまな思ひ出が去

マラソン

贈る喋

いまだそれをなげけたのだか
こんなめでたいとほない。
これは諸君自身の努力の結果で
あるから、卒業を喜んで
有頂天になのはよい。し
その前に四年間の大学生
仕方を修得するにあつてい

1000

[illegible]

[illegible]

時代で、大学を卒業しただけではなんの特権もなかったために、大学が大学院へ入るための予備校となり、大学院の学流烈な競争に勝つために、大学院のための予備校

[illegible]

多くの夢も持っておられた事と思うが、大学へ入ってからには、かつて持っておられた夢とは、多かれ、少なかれ、異なった事が現実

藤木 明

代で傳へた
なからかは
論議に必要
る。澤大は
立のめ、集
うが難し
に修し論文
への留時間
て、仕事を
の時間では
、家族の勝
を勝の気分
を期待し
に大学院
に就職状
場合では非
男性に比べ
留學
種翻譯
資料
三義平
四年間では
は、年間休學
大學三年生
し、ドイツ
かたいた
、高松時
を修め、大
に留學して
あつたナ
わね、人
れなかも
は、九龍か
の留學中
と、留學して
て、留學して

私の大学生活の幸福を一言に
ていふには、板敷。一
は、輪転機のインクの匂いす
南に臨み、ボクスでも、もう
は、冬に閑山の雪を写した
である。

私は、暗黒と協の役目として
肉大会、時讀演説の企画
當にかかわつた。そのなか
、第二十四回日学生協
ナル閑山大學大の成功は
に同發案、ものである。

また、の家をどうして
れば、ものである。書便
を歸ると、きまむ休養を
の山へ出、こで吹雪の
が自居フル終結点で
ペンリフ、他にカナル
時間もかけ、あつたよ
た。こに居る他、山の家
留學や、かある、我が閑
家は、一昔前の外觀のまま
る。しか、内地は盛
る。私の、心は、盛
に閑大らに、感謝し、閑生で
る。私とを結婚し、思
る。

な。今、余のた
要なとは、二枚の写
女が写しては、とい
ある。(第一、蘭
幸せな三年間

博士課程後期課程の三年間は
正當なであつた。間に
しまった。ぼくは、留學、研究
に机に向かつて、國語

宮下 政一

藤木 明

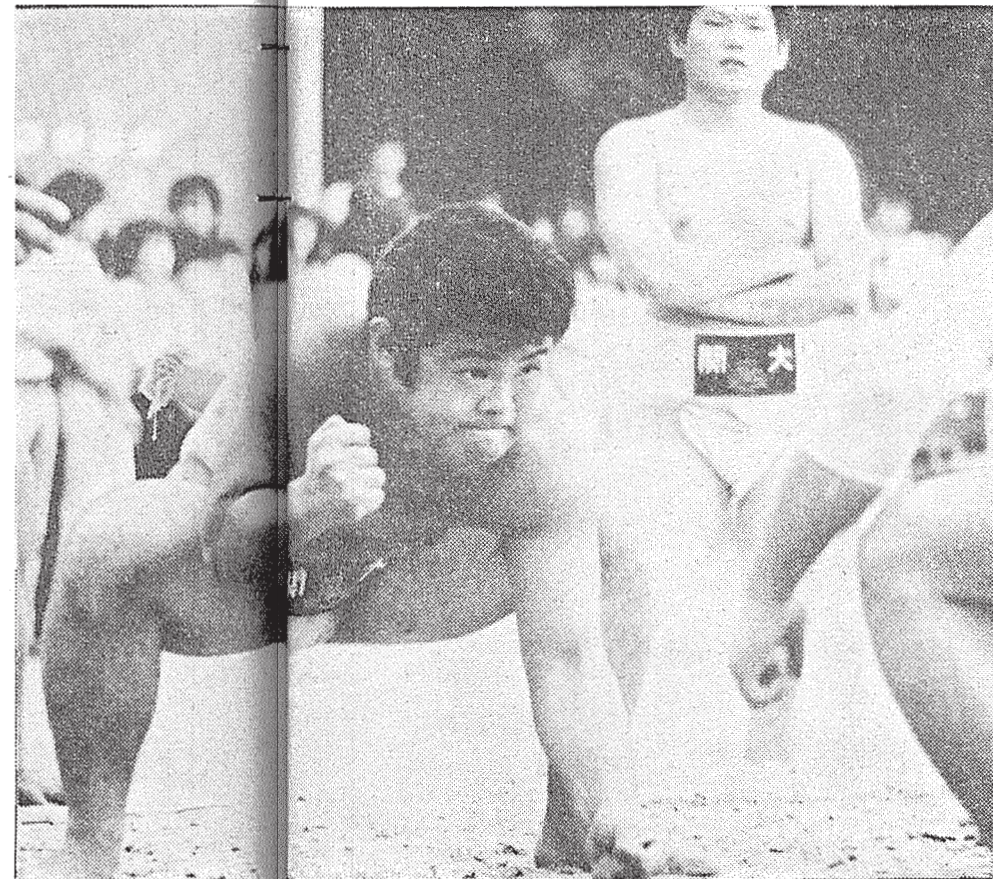
今

[illegible]

森田 宏

[illegible]

道 程

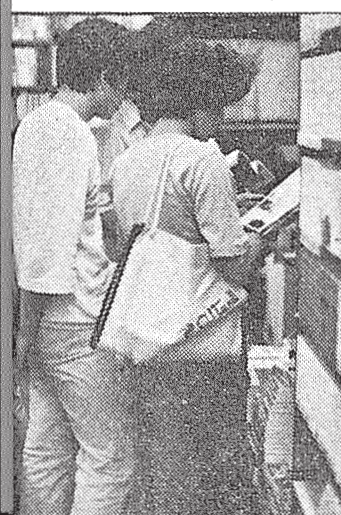
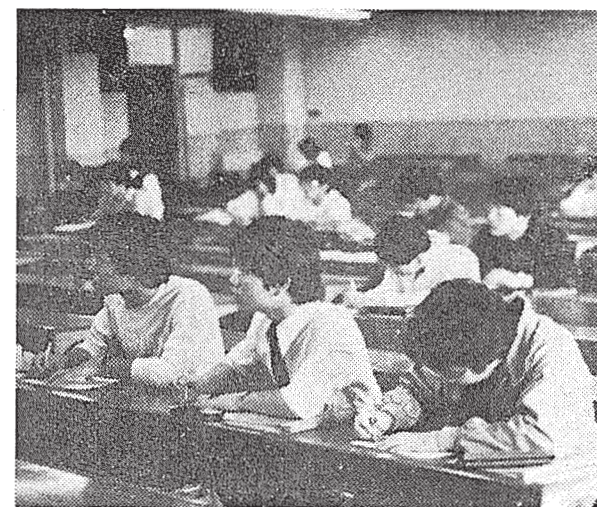


虚飾の仮面剥ぎ取れ

深奥を流れる全ての慣性を葬られ

今、若き精髓は個々の魂を旋廻る

—'81卒業アルバム'CURRENTより—



関西大学学生アルバム委員会

「身体障害者の職業リハビリテーション」

1月16日に開催された田島教授の退職記念講演会

キヤンパス
情報

大学院工学研究科に

[illegible]

検討されていた。そのさなかに、電気工学専攻在学中の土佐国秀君が病死され、尊父槐氏からも浄財が寄せられ、これらを基金としたその果実を以て今回の紫紺賞が実現したものである。寄贈者の尊意が生かされんことを期待する次第である。

入選作決まる

経済学と經濟論文

昭和五十五年(一九四〇年)に頒布された経済学部の懸賞論文の競争結果、入選の作品は四題発表された。入選の一書は、『経済学論』に擬載される。

二等賞(或著者) 一 橋本孝二「フ
ルヴィエ・ロゼンの経済思想」
二 ニューデールの経済思想
三 考案

二等賞(或著者) 一 正平「世
間秩序の義形態」 出稿
民二「ユブアクチニア」

千々和 義信氏（ちちわ・よしのぶ）
のぶいっふ学塾
（助手）一月廿四日午前八時頃急逝。三十二歳。昭和五十二年三月、本学大学院博士課程を修了し、同四月から助手。専攻は国法学。

卒業記念に「関西大学通信」の縮刷版

大学から卒業生うかてからの願いがやうと美
全員に卒業証書と現し、本年度から「因西大学通
して何か贈ると信」の縮刷版を贈ることとな
ができれば、といった。

この縮刷版は諸君が在学した
四年間に行方された「因西大学
通信」を収録したものである。
いして四年間のものを一冊



工学部 田島 治樹

[illegible]

津田昌利

られ、親戚誰れも成金陰に拘くべし。車は先生の親友の思い出から承てきたものに御喜ばした。昭和十五年十月十一日、岡田博士工學部生位だ最初から先生が由來、岡田の御師弟の尊切なものである。先生は二月の半月日に臺灣つた。昭和十五年に短期大學教授として赴任され、工學部設置が目的の賛成であるを逐次されたい。私は昭和十一年の六月旬間、京都大手工學部臨時教授の沢村先生に、工學部設置の目的を先生の御教授で、臨時沢村先生の御紹介で、太田先生の縁がまされた。昭和三十三年、先生は獨得の甲高い大発案をされた先生がなつてくばれた。新設重設の實現までには幾多の困難の克服であつた。先生の胸と肚と精氣は、泡に接しものである。先生の御研究論文「ケイ素鋼が

ありし日の太田先生（前列右）

一位論者や銅のセライト、フイイ素の問題に關したものであつた。御足跡に類して出版された『歩道録』と題した書物は、湘南内海に築かれる材料として御影のシリコロイを意圖として記したものである。内外の専門誌でも該文は掲載された。その多岐の特質からその工化の一端は、ルフトマシンのシャフト材としてシリコン社が、現在商賣をされている。昭和甲三二年頃出版された『片言の三友』(題名誤)という一冊は、當時の字面と愉快な話風を混雜を弄してゐた。

先生は、理想の異名に相応じ、甘い、晏々なものであつた。愛知縣縣立富田師範は先生の御出生の地であつた。

(工学部教授)

「法学会誌」第26号

法学会誌」は「法学論集」と並
法学会の機関誌であり、学生諸
の懸賞論文の発表の場である。

学生懸賞論文一
れているが等の解明を試みる。

本号には、法学会が昨年の春と
秋に主催した新入生歓迎記念講演
と学術講演も採録されている。中

から、治療行為には正当化

て、専断的警察行為と犯罪罪が成立するか、その成否問題は推定に同意するものと認めるところによつて、高橋次君「四年次生」と題する研究論文に収載された物もあり、学会からも注目されてゐた。同論文は、研究史の基本となる研究論文に、研究史の基本的な研究と批判し、編集した園田教授が、昭和十一年、同学会に発表し、その翌年、同学会に刊行した。代表は園田教授が、昭和十一年、同学会に発表し、その翌年、同学会に刊行した。代表は園田教授が、昭和十一年、同学会に発表し、その翌年、同学会に刊行した。

および卒業生を主体として

可。又、その著者の自序に「昭和十一年、明治會を互に発表し、その大成果をすまて、機關誌『民族文化研究』を刊行した。代表は田田教授、編輯は國田教授である。掲載論文には、研究上の基本となる研究叢書に収められたものもあり、学究から自ら書かれたもの」

卒業後の異動届も確実に

ほど、めでたく学窓を

学 生 部

このほど、めでたく学窓を巣立つ卒業生諸のみなは、関西大学進学会や本育英会奨学金などの手を通して学業を終へた。彼に、たゞは大層感謝を込めて、地方自治体奨学事業を奨めたい。関西大学進学会、日本育英会奨学金、大阪府育英会奨学金などは、学窓閉門後の制度であるが、ほ、学窓、大阪府育英会奨学金などは、心算が卒業後一年間によつて返還することになる。

返還方法等については、それぞれ制度によつて説明行われたりしてゐるが、卒業生の返還義務を守り、遅れないように早目に返還する、訓戒が大いである。

関西大学進学会、日本育英会奨学金、大阪府育英会奨学金などは、返還を必要とするものはいふまでもなく、返還期限が一通知書が送らされてゐる。

返還通知を受けると、さうして返還期限を過ぎない計に返還する。返還に遅れたときは延滞金を徴せられる。住所変更等の事を怠つて返還しなかつた、といふことは延滞金といふべきは延滞金といふべきであらう。

返還を怠つた、といふことは延滞金を徴せられる。住所変更等の事を怠つて返還しなかつた、といふことは延滞金といふべきであらう。

奖学金

は将来の制度充実に大きな
トを占めている。返還金が
代への奨学金として活かさ
くのだ。返還促進のため、
英会には早期返還による報
度があるくらいで、どの奨
あれ、期限内に計画的に返
心構えが大切である。

書
官

貸出・複写)することができま
校友閲覧券交付申請書(図書館
窓口にあります)に必要事項を記
す。

第1部学生(昭和50～54年度入学者)		最終年賦額、返還総額を返還年賦額で割り、端数が生じた場合には、その端数を年賦額に加算した金額とする。ただし、端数が10,000円以上のときは、その金額を最終年賦額とする。	
返 還 総 額	年賦額	返 還 総 額	年賦額
150,000円	30,000円	80,000円以下	15,000円
150,100～ 300,000円	40,000円	80,100～ 160,000円	20,000円
300,100～ 450,000円	50,000円	160,100～ 240,000円	25,000円
450,100円以上	60,000円	240,100円以上	30,000円
第1部学生・大学院学生(昭和46年度以前入学者)		第1部学生(昭和47～49年度入学者)	
第2部学生(昭和54年度以前入学者)		大学院学生(昭和47～55年度入学者)	
返 還 総 額	年賦額	返 還 総 額	年賦額
50,000円以下	10,000円		
50,100～ 80,000円	12,000円		
80,100～ 110,000円	14,000円		
110,100～ 140,000円	16,000円		
140,100～ 170,000円	18,000円		
170,100～ 200,000円	20,000円		
最終年賦額は返還総額を返還年賦額で割り、端数が生じた場合には、その端数を年賦額に加算した金額とする。ただし、端数が5,000円以上のときは、その金額を最終年賦額とする。			

司去後受後開會

① 會員會格別事項、檢査、非議
士及び法學專門家、師範士を希望する。本學會に卒業生、
② 研究部、助教職員、並びに
生涯法曹による別號義學指習
隊、司法試験當落成成績など、
③ 募集時期、丑年四月、九月、
入会試験あり。
④ 會費、年額八、〇〇〇円。
⑤ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑥ 會費、年額八、〇〇〇円。
⑦ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑧ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑨ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑩ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑪ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑫ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑬ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑭ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑮ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑯ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑰ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑱ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑲ 入會金、年額八、〇〇〇円。
⑳ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉑ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉒ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉓ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉔ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉕ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉖ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉗ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉘ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉙ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉚ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉛ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉜ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉝ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉞ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㉟ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊱ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊲ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊳ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊴ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊵ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊶ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊷ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊸ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊹ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊺ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊻ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊼ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊽ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊾ 入會金、年額八、〇〇〇円。
㊿ 入會金、年額八、〇〇〇円。

就
職
部

就職部

今春の卒業で就職が決まり、いまだに「就職内定証」を提出していない人、または「提出」が出た就職先を更替している人は、就活上、甚く不利な立場に陥る（一）。

さて、国家試験、官制試験受験専攻、あるいは大学院進学、学生入、自営、家業専従など、将来の方針が決まっている人も、その旨を早めに出す。

また、未届の場合郵便便、電報あるいは知人に依頼するなど何らの方法で、ぜひ届けて出す（二）。

（一）就職部は、卒業後、速に卒業生としての諸設備をすべて整えておく。就職部は、卒業後、速に就職部としての諸設備をすべて整えておく。就職部は、卒業後、速に就職部としての諸設備をすべて整えておく。

卒業おめでとうー。なつ

涯をかけたのチャレンジの第一歩が踏み出されようとしています。実社会へのたきこい決意／＼といっても、多少の不安はいなかいいでしょう。しかし留意してほしい。十七万人におよぶ先輩校友が全国いたるところで活躍している。

明治・大正・昭和にわたる親睦組織

[illegible]

消息を知ることのできる価値
簿です。

なほ、金庫生業を就職する校友
年報改訂時は、本年三月に五五
版紙を刊し、希望には一万円
で頒布いたします。

《校友基本カード》
の急な「急票」を

先におしらせ、校友基本カー
ドを原票に「提平」さす。校友

新校友のみなさま、私たちの
クラブに加はれ、ともに一九
五年、母校最大の希望の栄光の
新校友のみなさま、私たちの
クラブに加はれ、ともに一九
五年、母校最大の希望の栄光の

お問ひ合わせは、お気軽に、
吹田市山田町 関西学生會館
校友会事務局 (内線五七七)

《五十音順》

が奈良女子大学へ御転出される。本学の研究・教育の至実と発展のために、永年にわたり賜った御高配と御尽力に対して、厚く御礼申し上げますとともに、御健康と御多幸とを心より祈ります。

五年間、人生の大半を過ごした研究機関から本学に招かれた私は、当然とまづこれを詫えた。まづ、教育の場を置いた責務である。学生時代、ノート二冊に及ぶ教育學理論を受講したが、持ちこみを許さぬ試験の重圧感しか記憶にない。私にやれる事は、学生諸君の意欲をかきたて、甘えの掬性を粉砕するべうらいたと割りきつた。それに応えてくれる者もあつ

学生時代に

信じて、自ら考え誠実に努力する
 人間になってくれることを祈るほ
 かなかった。だから以上は、私の敗
 者の弁にすぎぬ。ただ、私の接し
 めぐまられた

「これは、私が勝手に描いた。筆に、やさしい教師、にほりかえた。僅か四単位の卒業に取り組み姿には、しばし自分の意識して、ちよつと耐えに耐えた。三年の鍛練は、今後いよいよ重

である。学生諸君との全精力を傾けての話し合い、多くのかたがたが重要さを有する。例にもれず、いづれなかつたがたから送別の会をからの励ましや助力の中で、関大

写も即座にできる。私の学生時代には例えば金属の日本の専門書が五指に足りなかったこと、文獻が

工学部 田島 彰

田島 彰

國文學部就任前の数年間を
沢村宏先生の鉄冶金学研究
について、戦後混乱期の運を
すべて、白紙から始めて
研究に従事した。とりと新
環境の下で勉強している。
た図書館には語学の望む書
外の専門学術誌が揃って
いた。國大生諸君、國大生
つげると、ほかにも先生に勉
学した。國大生諸君、國大生

返しを学生諸君に對
かというと慙愧に
生諸君は現在実に

「これは、私が勝手に描いた。筆に、やさしい教師、にほりかえた。僅か四単位の卒業に取り組み姿には、しばし自分の意識して、ちよつと耐えに耐えた。三年の鍛練は、今後いよいよ重

性を有する。例にも
なかつたから送別

往々にして、かえつて御
めた目で、盤上の戦況をな

文学名著刊行
鹿本屋行
ほか訳
「ゲーテ全集」
第二巻詩集二
(潮出版社・三三〇〇円)
戦後のゲーテ研究の新しい成果

（潮出版社・三二〇〇円）

訳潮版全集全十五巻・別巻二
実に二十年後の刊行事業で
この意味において画期的な

が、持前の奸計と并舌で逆を隔れ、最後には国王ライオにまして宰相に任ぜられると

ハンセン、ケインズの諸理論を批判し、さらに当代の新マルサス主義としての「人口圧力論」「人口爆発論」「人口環境汚染論」等を徹底的に批判している。訳文にやや固さが感じられるが、懇切丁寧

に批判している。訳文にや

論文や新聞雑誌の評論をまじ
中国の当面する人口問題、
人口抑制政策の実態を詳細

いる。なお付録として中国の人口問題、政策、研究史がある。

（鳥井克之）

での主要な天文・地理書といえる『九章算術』『周髀算經』『渾天儀』『靈憲』『晋書・天文志』の邦訳と詳細な注釈、加えて簡明で要領のよい解説が収められている。そのほとんどは最初の邦訳であって、今後の中国文化の研究に

のほとんどの最初の邦訳で、今後の中国文化の研究に

学部教授
勤講師 井本 稔著

とした番がある。特に纏で
られたみぎ前夫人のことは
ない筆の中に深い愛がこめ

（横田健一）



編集後記 ◀

編集後記 ◀

掲載するとともに、第二部の各学部卒業生と院前期・後期の修了生名のかたがたに、在学中

（尾崎・高橋）